

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【公開番号】特開2011-151829(P2011-151829A)

【公開日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2011-031

【出願番号】特願2011-43103(P2011-43103)

【国際特許分類】

H 0 4 W 56/00 (2009.01)

H 0 4 W 16/28 (2009.01)

H 0 4 B 1/7075 (2011.01)

H 0 4 J 3/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 4 6 2

H 0 4 Q 7/00 2 3 5

H 0 4 J 13/00 4 1 1

H 0 4 J 3/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月16日(2011.8.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

符号分割多元接続（C D M A）ユーザ端末であって、

前記 C D M A ユーザ端末がオンにされることに応答して、同期符号をスキャンし、捕捉する手段と、

前記同期符号を捕捉することに応答して中央制御装置に送られる登録メッセージを開始する手段であって、前記同期符号は、複数の転送局から捕捉され、前記同期符号の各々は、タイムスロットの一部で捕捉される、手段と、

複数のスペクトラム拡散信号を受信する手段と、

前記受信スペクトラム拡散信号間の複数のチップタイミング差を判定する手段であって、前記複数のチップタイミング差は、前記加入者ユニットのロケーションを判定し易くする、手段と、

スペクトラム拡散信号を介してロケーション情報を送信する手段と

を備えたことを特徴とする C D M A ユーザ端末。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の C D M A ユーザ端末であって、前記登録メッセージに応答して前記中央制御装置から確認メッセージを受信する手段をさらに備えたことを特徴とする C D M A ユーザ端末。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の C D M A ユーザ端末であって、異なる領域の前記同期符号は、識別可能であることを特徴とする C D M A ユーザ端末。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれかに記載の C D M A ユーザ端末であって、

前記同期符号を用いて前記 C D M A ユーザ端末を転送局と同期する手段と、

前記同期符号と整列した制御チャネルを介して制御情報を受信する手段であって、前記制御チャネルは、C D M A 符号を用いて拡散されている、手段と
をさらに備えたことを特徴とするC D M A ユーザ端末。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれかに記載のC D M A ユーザ端末であって、
スペクトラム拡散信号を受信する手段と、
前記受信スペクトラム拡散信号を逆拡散して出力逆拡散信号を発生する手段と、
前記出力逆拡散信号を前記出力逆拡散信号の遅延バージョンと合成する手段と
をさらに備えたことを特徴とするC D M A ユーザ端末。

【請求項 6】

符号分割多元接続（C D M A）ユーザ端末による使用のための方法であって、
前記C D M A ユーザ端末がオンされることに応答して、同期符号をスキャンし、捕捉することと、
前記同期符号を捕捉することに応答して中央制御装置に送られる登録メッセージを開始することであって、前記同期符号は、複数の転送局から捕捉され、前記同期符号の各々は、タイムスロットの一部で捕捉されることと、
複数のスペクトラム拡散信号を受信することと、
前記受信スペクトラム拡散信号間の複数のチップタイミング差を判定することであって、前記複数のチップタイミング差は、前記加入者ユニットのロケーションを判定し易くする、ことと、
スペクトラム拡散信号を介してロケーション情報を送信することと
を備えることを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の方法であって、前記登録メッセージに応答して前記中央制御装置から確認メッセージを受信することをさらに備えることを特徴とする方法。

【請求項 8】

請求項 6 または 7 に記載の方法であって、異なる領域の前記同期符号は、識別可能であることを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 6 から 8 のいずれかに記載の方法であって、
前記同期符号を用いて前記C D M A ユーザ端末を転送局と同期することと、
前記同期符号と整列した制御チャネルを介して制御情報を受信することであって、前記制御チャネルは、C D M A 符号を用いて拡散されていることと
をさらに備えることを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 6 から 9 のいずれかに記載の方法であって、
スペクトラム拡散信号を受信することと、
前記受信スペクトラム拡散信号を逆拡散して出力逆拡散信号を発生することと、
前記出力逆拡散信号を前記出力逆拡散信号の遅延バージョンと合成することと
をさらに備えることを特徴とする方法。

【請求項 11】

符号分割多元接続（C D M A）システムであって、
基地局と、
C D M A ユーザ端末であって、
前記C D M A ユーザ端末がオンにされることに応答して、同期符号をスキャンし、捕捉する手段と、
前記同期符号を捕捉することに応答して前記基地局に送られる登録メッセージを開始する手段と、
前記登録メッセージに応答して前記基地局から確認メッセージを受信する手段と
を含むC D M A ユーザ端末と

を備えたことを特徴とするC D M Aシステム。